

障がい者雇用普及促進セミナーを開催しました！



当日の内容

1. 教育委員会 挨拶
2. 学校長 挨拶
3. 「夢ふくおかネットワーク」の取組・障がい者インターンシップ事業について
4. 「博多高等学園」作業学習について
5. 作業学習見学
6. 質疑応答

7月6日に障がい者雇用理解促進セミナーを開催しました。

このセミナーは福岡市職員を対象としており、市職員の障がい者雇用への理解を深め、さらに障がい者インターンシップ事業（庁内インターンシップ事業）の受入先を広げることを目的として毎年開催しています。

セミナーの会場となった博多高等学園は、企業就労を目指す特別支援学校として十数年前に開校した高等部単独設置の学校です。これまで就労に特化したカリキュラムで卒後の就労において実績を挙げてきました。

学校紹介では、生徒たちが各作業班ごとに学習内容を自分たちで考えたプレゼンテーションで発表しました。何回もリハーサルをし、練習したおかげで物おじせずに堂々と発表することができました。

さらに作業学習の見学では生徒が案内役を担い、各作業班の様子を紹介、参加者からの質問にもはきはきと答えていました。

2学期からは、市内の特別支援学校高等部の生徒たちが、それぞれ受入先となる部署や施設で実習に入ります。生徒たちが庁内インターンシップでたくさんの経験を積み、成長することを期待しています。



↑見学のお客様を迎える生徒たち



↑博多高等学園学校長の挨拶



↑福岡市教育委員会の挨拶

流通・事務班のパソコン作業



生徒たちがプレゼンで作業学習の内容を紹介

清掃・福祉班の洗車作業



環境・園芸班の園芸作業



食品・接客班のカフェ運営



流通・事務班の布加工作業



参加された庁内職員の方々のセミナーの感想を一部ご紹介します。

- ◆ 生徒たちの姿勢や態度がとても素晴らしくて感動しました。なかでも挨拶がとても素晴らしく、さわやかな気持ちになりました。こちらこそたくさん学ばせていただき、本当にありがとうございました。
- ◆ 特別支援学校の生徒さんが一生懸命頑張っておられる姿に接することができて良かったです。実習をしてもらうにあたり、具体的にどんなことが可能なのかも実際に見ることができました。インターンシップ受入れの際に気をつけるべきことや、他局での様々な受入れ事例の紹介があると参考になると思います。
- ◆ 校舎の清掃が隅々まで行き届いていて、とても感心しました。また、博多高等学園の就職率、定着率がとても高くて驚きました。
- ◆ 案内をしてくれた生徒が、見学の後半になるにつれ、だんだん自信を持って案内できるようになっていくのが分かりました。経験することが大事ですね。
- ◆ 特別支援学校でどのような学習をしているのか今まで知らなかったので、特別支援学校のことを知る良い機会となりました。このようなセミナーに参加することで、より多くの市職員に障がい者雇用への理解をしていただきたいと思いました。
- ◆ 作業の目標や留意点等をしっかり理解し、それぞれの作業の先にいるお客様の安心・安全・喜びなども意識して、心のもったお仕事をされていて感心しました。何より生徒の皆さんが楽しそうに作業されていたのが素晴らしいと思いました。

庁内インターンシップ事業

(障がい者インターンシップ事業)

福岡市では、障がいのある方の庁内における職場実習を行っています。(※庁内とは福岡市各局・区・室及び外郭団体のことです。) これは福岡市保健福祉局が推進している事業で、毎年 30~40 件の部署や施設等が障がい者の実習の受入れを行っています。

特別支援学校高等部で就労を希望している生徒も、1~2年生を中心に毎年実習を行っています。庁内の職員の方々のご理解のおかげで、経験値が浅く企業実習への敷居が高い生徒にとっても比較的挑戦しやすく、学校ではなかなか得られない職場の緊張感や実践的なスキルを体験でき、大変貴重な実習先となっています。実際、庁内インターンシップを経験して自信をつけ、企業実習や就労へとつなぐことができた生徒もたくさんいます。

【目的】

- 職場実習の場を提供することによる**就労支援**
- 障がい者雇用に対する**理解・普及促進**
- 市が率先して職場実習を受け入れることによる障がい者雇用の**啓発**

【実習内容】

- ◆ **事務補助**
 - * 文書・図書・資料などの整理
 - * コピー・印刷・丁合・製本
 - * 宛名書き
 - * ゴム印押し
 - * チラシの折り込み作業
 - * 新聞の切り抜き
 - * 文書目次・インデックスの作成
 - * アンケートの打込み など
- ◆ 教材作り
- ◆ 調理業務補助
- ◆ 清掃
- ◆ 園芸
- ◆ 道具類の手入れ
- ◆ イベント準備・会場設営 など



↑ 資料の丁合作業
漏れがないように確認しながら
端をきれいにそろえて綴じます



← 会議室のセッティング

↓ インデックスの作成
インデックスがずれたり重なったり
ないように丁寧に貼ります



↑ 清掃作業



障がい者の就労についての調査

～福岡市の場合～

＊「福岡市障がい児・者等実態調査報告書」より

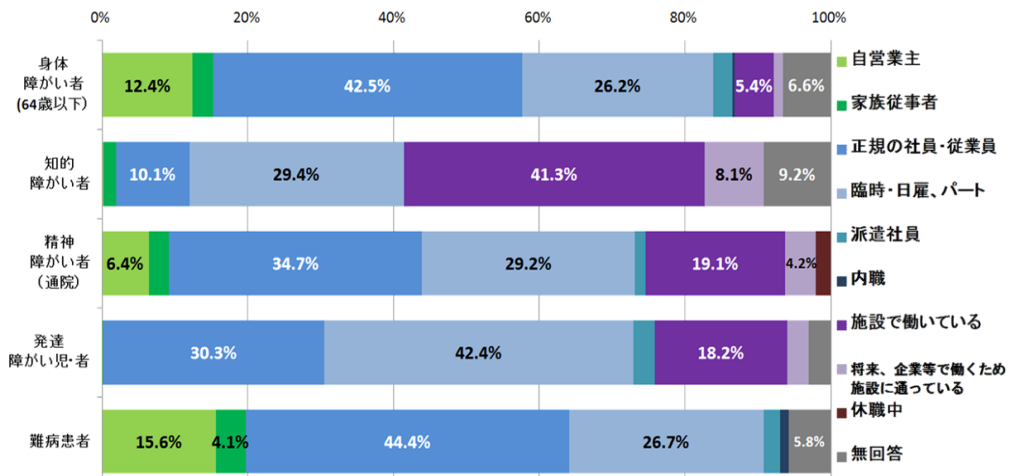
福岡市に居住する障がい児・者等の生活実態や意識、福祉施策に対する要望等を把握することを目的として実施した調査の結果が出ました。その中で就労に関する調査結果をご紹介します。

1. 就労状況・就労形態について

仕事をしている人は、64歳以下の身体障がい者の50.4%、知的障がい者の42.0%、精神障がい者（通院）の29.7%、発達障がい児・者の36.3%、難病患者の43.7%となっています。

就労形態をみると、64歳以下の身体障がい者、精神障がい者（通院）、発達障がい児・者、難聴患者では「正規の社員・従業員」が全体の3割～4割を占めていますが、知的障がい者では1割に留まっています。また知的障がい者では、施設で働いている人が4割強（41.3%）を占めて最も多くなっています。

就労している人の就労形態



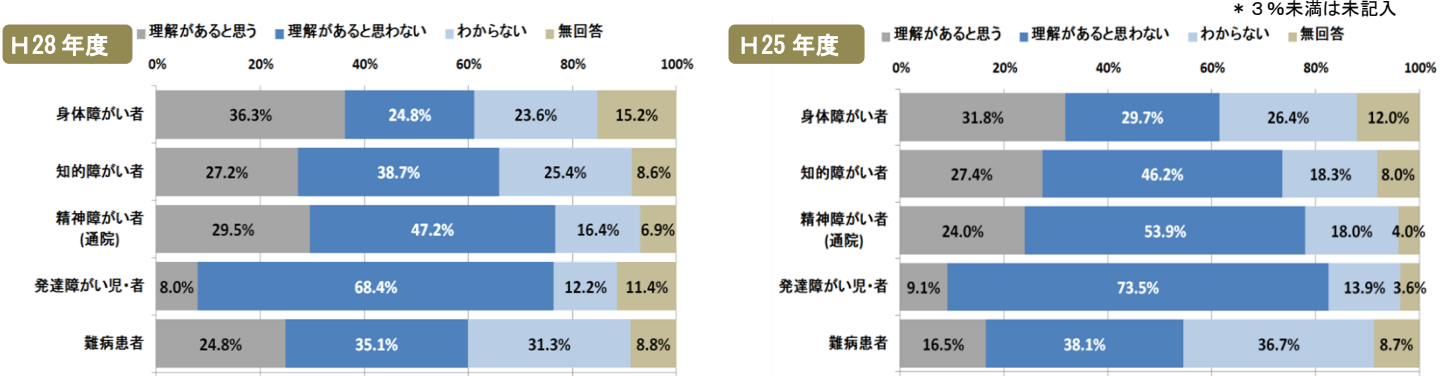
＊3%未満は未記入

2. 障がい者の就労に対する社会の理解度

障がい者の就労に対する社会の理解度をみると、身体障がい者以外では「理解があると思わない」の割合が「理解があると思う」を上回っています。

前回調査結果（H25年度）と比較すると、身体障がい者、精神障がい者（通院）、難病患者では、今回「理解があると思う」の割合が高くなっています。

障がい者の就労に対する社会の理解度（集約）



3. 就労支援として必要なこと

障がい者の就労支援として必要なことをみると、「調子の悪いときに休みを取りやすくする」や「短時間勤務などの労働（作業）時間の配慮」は、各障がい者に共通して上位にあがっています。

知的障がい者、発達障がい児・者では「仕事（作業）上の援助や本人・周囲への助言を行う者による支援」、いわゆる『ジョブコーチ』に関するニーズが高くなっています。

なお、発達障がい児・者では、「発達障がいの特性を踏まえた作業手順の視覚化などの配慮」（66.2%）が第1位となっています。

就労支援として必要なこと
(複数回答上位5項目)

	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者(通院)	発達障がい児・者	難病患者
1位	調子の悪いときに休みを取りやすくする (31.5%)	仕事(作業)上の援助や本人・周囲への助言を行う者による支援 (40.4%)	調子の悪いときに休みを取りやすくする (55.6%)	発達障がいの特性を踏まえた作業手順の視覚化などの配慮 (66.2%)	調子の悪いときに休みを取りやすくする (57.9%)
2位	短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮 (29.8%)	調子の悪いときに休みを取りやすくする (32.3%)	短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮 (44.0%)	仕事(作業)上の援助や本人・周囲への助言を行う者による支援 (59.3%)	短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮 (40.5%)
3位	在宅勤務 (26.9%)	工賃(収入)の増加 (28.6%)	通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮 (31.2%)	試しにいろいろな仕事(作業)を体験してみる (51.0%)	通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮 (36.0%)
4位	通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮 (22.7%)	短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮 (27.7%)	在宅勤務 (29.8%)	障がい者雇用のきっかけづくり(トライアル雇用) (43.3%)	在宅勤務 (35.3%)
5位	工賃(収入)の増加 (17.1%)	仕事(作業)の内容の簡略化などの配慮 (27.5%)	工賃(収入)の増加 (28.7%)	仕事(作業)の内容の簡略化などの配慮 (42.6%)	収入の増加 (20.5%)

保護者セミナー開催のお知らせ



保護者の皆様、
ぜひご参加
ください！

← 昨年度の保護者セミナーの様子

H29年10月21日(土)

夢ふくおかネットワークの保護者向けセミナーを実施いたします。お子さまの将来について、卒業後の就労に向けて前向きな取組につながる内容となっております。

【内容】

- 基調講演 「就労に求められる力とは
～家庭における支援を考える～」
講師：福岡市障がい者就労支援センター
就労支援コーディネーター 高野 徳子氏

- 卒業生の体験発表

就労されている特別支援学校高等部卒業生とその保護者に、現在のお仕事の様子や家庭での取組などをお話しいたします。



時間：13：30～15：30（受付13：00～）
場所：福岡市発達教育センター
（福岡市中央区地行浜 2-1-6）

* 場所や内容等が変更になる場合があります。
詳しくは発達教育センター就職指導員赤松まで

「夢ふくおかネットワーク」

登録企業を募集いたします！

福岡市教育委員会は、企業・事業所、学校、関係機関、保護者、学識経験者等によるネットワークを立ち上げました。障がいのある市内高等部生徒の企業・事業所就職を、雇用される側（生徒）、雇用する側（企業・事業所）の両側から捉え、推進していく取組を行っていきます。登録いただいた企業・事業所様へは、特別支援学校に関する情報の発信、企業・事業所間での情報交換の場の提供などを行っていきます。

《事業内容》

- 総会（年1回） ● 会報発行（メールにて配信）
- 各種セミナー開催
- 学校見学会、雇用企業・事業所見学会などのイベント開催
- * 生徒の職場実習（インターンシップ）や雇用をお考えの企業・事業所様からのご相談を受けます

現在、208社の企業・事業所様にご登録いただいています。
（平成29年7月31日現在）

「夢ふくおかネットワーク」とは？

学校



企業・事業所



連携

- ・生徒の就労意欲を膨らませる
- ・生徒の「働く力」を高める

支援

市立特別支援学校高等部生徒の
企業への就労促進を行うネットワークです

支援

- ・職場実習・就労先企業を上げていく
（ニーズにあった雇用・職場実習に関する情報を提供していく）

教育委員会を中心に 企業・事業所、行政、関係機関、学識経験者、保護者、教育関係者、企業団体などによる連携

* 「夢ふくおかネットワーク」登録ご希望の方は
発達教育センター就職指導員（赤松）まで

福岡市教育委員会 発達教育センター

福岡市中央区地行浜 2 丁目 1-6
TEL 092-845-0015
FAX 092-845-0025
E-mail yume_network@city.fukuoka.lg.jp
HP <http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/hattatuc/>

「夢だより」についてのご感想、ご意見などをお寄せください。

※左記参照

